

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年7月25日時点)

➤ **ウクライナ軍**が南部及び東部の**露軍**に対する**攻撃を強化**する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者約6万~7万人** (CSIS2月27日)

死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)

死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: **死者最大約1万3千人** (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: **死者8490人以上、負傷者1万4,244人以上** (OHCHR4月10日)

・ 露国防省は、「**モスクワ市内の目標物を対象とした2機の無人機**によるキーウ政権のテロ攻撃を試みは阻止された。**2機の「ウ」軍無人機は露軍の電子戦手段によって墜落した**」と発表 (7月24日)

・ 「ウ」メディアは、**リマン・クピャンスク方面で露軍が10万人以上の兵員を配置し、主導権の奪取と突破口を開くよう試みているのは、南部地域及びバフムトからの「ウ」軍の注意を逸らすための積極的防御行動である旨指摘** (7月19日)

・ 「ウ」当局は、露軍が**オデーサ市中心部をミサイル攻撃**し、少なくとも4人がけがをしたと発表 (7月20日)

・ 「ウ」当局は、露軍の巡航**ミサイル攻撃**により、オデーサ州内の**穀物関連施設が破壊**され、爆発により少なくとも2人がけがをしたと発表 (7月21日)

・ 「ウ」当局は、7月22日夜から23日朝にかけ、露軍の大規模**ミサイル攻撃**があり、**オデーサ市内で1名が死亡、子供含む22人が負傷**したほか、集合住宅や**宗教施設でも被害**が出たと発表 (7月23日)

・ クリミア東部**スタリ・クリム**で**爆発**が生起。露占領当局は、露軍訓練場で火災が起こったとして、周辺住民2,000人以上を避難させたと発表 (7月19日)

・ 「ウ」軍戦略コミュニケーション局は、**クリミア半島中部クラスノフヴァルジーシケ**所在の露**石油貯蔵施設及び弾薬庫を攻撃**したと発表。露占領当局首長は、同攻撃が**UAV**によるものだったと指摘 (7月22日)

・ 露占領当局は、クリミア半島中部**ジャンコイ**で**UAV攻撃**が生起し、**露軍防空部隊が11機を迎撃・ジャミングにより無力化**したと発表 (7月24日)

・ ゼレンスキー大統領は、**反転攻勢の開始が遅れてしまったために、露軍に地雷敷設と多重の防衛線を準備させる時間を与えてしまい、その結果「ウ」軍の反転攻勢の進捗が遅れている**と指摘 (7月21日)

・ 「ウ」国防次官は、「ウ」軍は、**南部戦線でこの1週間、12km²以上を、バフムト正面では4km²を解放**したと発表 (7月24日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 🟡 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 🔵 ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等